

横浜密封材料(杭州)有限公司・横浜胶管配件(杭州)有限公司 CSRレポート

事業内容: 横浜密封材料:自動車用シーラント 横浜胶管配件:建設機械用各種ホース
敷地面積: 10,000m²
従業員数: 横浜密封材料:25人 横浜胶管配件:49人 (2009年6月末現在)
所在地: No.12 Avenue, No.18 Hangzhou Economic & Technological Development Zone, Xiasha Hangzhou, China
 横浜密封材料:TEL+86-571-8672-5870 横浜胶管配件:TEL+86-571-8685-2592
 ※両社は同一敷地内に所在し、社長は両社を兼務しています。



社長ご挨拶



森 智朗

2004年に設立された横浜密封材料(杭州)と横浜胶管配件(杭州)は、中国国内の生産および販売活動を順調に発展してきましたが、生産量の増加に伴い廃棄物発生量が増加してきました。中国では環境に関する意識がまだ希薄で、生産活動中心になることを危惧していましたが、横浜ゴムの中期経営計画「GD100」の「トップレベルの環境貢献企業を目指す」を目標に掲げ、地道な活動を行った結果、2008年度は環境活動が大きく進展しました。

横浜胶管配件(杭州)がISO14001、ISO9001を取得し、先行取得していた横浜密封材料(杭州)と環境マネジメントシステムを一元化させました。その結果、月例の合同環境会議で様々な環境問題を前向きに対応できるようになりました。また、従業員だけでなく地域行政や地域企業の方々にも参加いただき、杭州横浜輪胎と共同で「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの植樹祭を開催しました。地域に根ざした環境企業を目指し、「寄付活動」、「どんぐり拾い」、「地域ゴミ清掃」、「ボランティア植樹」も行っています。さらに従業員全員が、環境に対する目標を樹木の葉に記載し、社内入口に掲示しました。こうした活動は従業員の環境への意識を高めるだけでなく、来客者に対して環境意識を示す活動にもなっています。中国杭州の地で芽生えた環境意識を今後も継続し、この地に大樹となり花開く活動として、地域の皆さまと従業員が一丸となり取り組んでいきます。

主な地域との交流活動

2008年3月、浙江省三門の山に植樹する活動に従業員41名がボランティアとして参加しました。また、中国四川大地震の際には、社員募金による義援金を被災地に送りました。



植樹する従業員

2009年度環境方針

基本理念

YHHCは、トップレベルの環境貢献企業を目指して、企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、法を順守することはもとより、リスクアセスメントの結果にもとづき自らの目標を設定し、環境負荷の低減およびお客さま・市民・従業員の安全を追求すると共に環境マネジメントの継続的改善に取り組む。また、積極的に情報を公開し、コミュニケーションを図れることにより、社会の理解と信頼を得る。

基本方針

- (1) 法規則や社会規範の順守と社内基準の順守。
- (2) 地球温暖化防止のため省資源、省エネルギーを推進し、資源は回収、リサイクルなどにより効率的活用を図ります。
- (3) 従業員の環境保全意識および責任を強化し、正しい態度で環境汚染の予防を進める。
- (4) 危険予知・事故事例の活用による再発防止および類似災害の発生防止を図り、事故、労働災害ゼロを目指します。
- (5) 作業環境の改善と設備の本質安全化に努める。
- (6) おおらかな自然との調和・融合をもとに地域との共生を目指す。

環境リスク訓練

消防演習

2008年10月、従業員28人が参加しました。

環境問題の勉強会

2008年12月、「地球温暖化の現状と将来の影響への国際的な対応策」、「ごみ、大気水、化学物質について」、「横浜ゴムの環境に対する取り組み」などについての従業員を対象に勉強会を行いました。

環境データ(年度は1~12月)

横浜密封材料(杭州)

項目	2006年度	2007年度	2008年度
廃棄物発生量(トン)	18	25	32
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	51	47.3
	燃料	610	7.4
	合計	661	54.7
温室効果ガス排出量(トン-CO ₂)	204	233	123
水使用量(m ³)	314	773	1,365

※2007年度までの温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数:1.008kg-CO₂/kWhを使用

※2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用